

## 1-(2) 新庁舎 市民スペースの愛称決定について

### 1. 市民スペースの愛称決定

5月6日に開庁を迎える新庁舎について。

このたび、市民の皆様に広くご活用いただく

- ・1階「市民交流スペース」と、
- ・15階、17階の「展望スペース」

この2か所のスペースについて、公募により愛称が決定したので披露させていただきます。

### 2. 各スペースの特徴

- ・1つ目の「市民交流スペース」は、  
新庁舎1階の北東側、  
ぎふメディアコスモス前の「みんなの広場カオカオ」に面した明るく開放的な空間。  
日常は、来庁者の休憩や談話の場とするとともに、  
ミニコンサートなど、イベントにも活用できる多目的な交流スペースである。
- ・2つ目の展望スペースは、  
新庁舎15、17階の北側、地上62mと70mに位置し、それぞれ2層吹き抜けとなった空間。  
清流長良川をはじめ、岐阜城、金華山、遠くは、能郷白山(のうごうはくさん)など、  
北部方面の景色を一望できるスペースである。

### 3. 選考経緯

- ・これらスペースについては、  
昨年9月1日から約1か月半(9/1-10/16)の期間、  
愛称を募集した。  
そうした所、  
北は北海道、南は鹿児島県まで、  
全国46都道府県から、  
合わせて788名、2,116点ものご応募をいただいた。  
ご応募いただいた多くの皆様に、改めて感謝申し上げます。

選考については、

- ・それぞれ1,000点を越える応募作品の中から、  
①庁内の若手職員による1次選考、  
②ふるさと岐阜市活躍人財バンクの登録者を  
含む外部委員などによる2次選考を経て、  
③私と5名の部長による3次選考で  
採用作品を選定、決定させていただきました。

## 4. 決定した愛称

そこで、決定したこれらスペースの愛称を発表する。

- ・1つ目、1階「**市民交流スペース**」の愛称は、「**ミンナト**」に決定  
愛称「**ミンナト**」は、  
**神奈川県藤沢市の藤井 千恵**(ふじい ちえ)さんの作品。

(命名理由)

- ・市民交流スペースが、**多くの市民の交流の場**となり  
「**みんなと利用したい**」と思えるような場所になってほしい、  
との願いを込めたとの事。

続いて

- ・2つ目の15階、17階「**展望スペース**」の愛称は、  
「**つかさデッキ15**」、「**つかさデッキ17**」に決定  
愛称「**つかさデッキ**」は、  
**市内在住の松田 友佳里**(まつだ ゆかり)さんの作品。

(命名理由)

- ・**長良川や金華山などの景色**と、新庁舎の所在地である**つかさまち司町**の街並みを一望できる、  
**多くの人々が集まるデッキ**をイメージしたとの事。

## 5. 最後に

なお、これらのスペースには、大変ありがたいことに、企業や団体の皆様から

- ・市民交流スペース「**ミンナト**」には、**グランドピアノ**や**テーブルセット**を、
- ・展望スペース「**つかさデッキ**」には、**ソファ**などの  
**ご寄附**もいただく**予定**であり、  
**愛称以外でも、大変注目**をいただいている場所であると実感している。

- ・両スペースとも、  
新庁舎を開庁する**5月6日より、土日を含めて広く開放する予定**である。  
**市民に開かれた庁舎の特徴の一つ**である これらの場所に、  
ぜひ、多くの皆さんに、お立ち寄りいただきたい。